

72

軍秘

九特根機密第四〇號三

昭和十九年八月八日

第九特別根據地隊戰鬥詳報第十九號

七月二十五日對空對水上戰鬥

第九特別根據地隊

19. 225
31
24 0
24 Y

19. 9. 18
檢査

0254

目次

- 一 形勢
- 二 計畧
- 三 経過
- 四 成果
- 五 我が兵力、現状
- 六 功績
- 七 所見

(目次終)

19
7
24
AGW

19
7
24
H
H
H

昭和十九年七月二十五日
對空水戰半日

第九特別根據地隊戰闘詳報

一 形勢

(1) 發動前ニ於ケル敵狀

(1) 英國ハ從前ヨリ陸上ヨリスル印緬補給路ノ打開ヲ重視シ海上作戰トシテハ、マラツカ海峡及「アングマン」海ニ於ケル潛水艦ニ依ル交通破壞戰ニ終始シアリシガ、米ノ中部太平洋方面ノ攻勢ト呼應 我々牽制セントシ 去ル四月十九日「サバン」五月十日「スラバヤ」六月二十一日「ポートブレヤ」ト引續キ機動航空戰ヲ實施シ我々關心ヲ當方面ニ吸收セント企圖ス

然レドモ欧州第二戰線ノ展開ハ英ヲシテ印度洋方面ニ指向スベキ餘剩兵力ヲ僅少ナラシメ、米又中部太平洋ニ其ノ全力ヲ傾注シタル現狀ニ於テハ對處當方面ニ對スル揚陸ヲ實施スル餘力無キモノノ如シ

以上ハ當方面ニ於ケル再三ノ敵機動部隊ノ來襲ガ或ハ強行偵察ニ非ズキト思考セラル、程度ニ執拗性無ク引揚ヲ急ガタル英ヨリモ判斷シテ

從ツテ敵トシテハ機動作戰ハ相當顯著ニ當方面ニ實施スベキモ揚陸ハ企圖シ非ズト判斷シ居レリ

(2) 從來、當方面ニ於ケル敵ノ遠方トシテハ來襲前潛水艦ヲ集中シテ今回ハ事前ニ潛水艦ヲ集中セル如キ事象ハ察知シ得ズ

0256

19. 7. 28
14
ASW
19. 7. 28
14
ASW

(3) 通信諜報ニ関シテハ特ニ異状ヲ認メザルモノノ如シ

(四) 彼我ノ兵力

(1) 敵兵力

海上機動作戦實施可能ナル方面敵兵力概手左ノ如ク判断シテリ

戦艦	五隻上
正規空母	二隻三
巡洋艦	一〇隻ニ〇
駆逐艦	三〇隻四〇
潜水艦	三〇
	持空母 二〜四

(2) 我ノ兵力

當隊兵力部署詳左

別ニ

陸軍飛行第六二戰隊 重爆 三機 (ヤパン)

第三十八航空戰隊

七〇五空艦攻

機 (ヤマランガ)

74

日 0834

八三〇 砲台	八三三 砲台	八三九 司令部	八三〇 砲台	二五〇・八三〇 砲台	砲台	(四) 令達報告等	受(宛)	令達報告等	種別
	司令部	各部	司令部	司令部	空襲警報(對空戦) 二四〇度青山上空敵艦上戦九機見エ				砲台
	戦機三機伊坊山ヲ銃撃中	空襲警報(對空戦)							
飛行場上空ニ四機									

六 計画
當隊兵力部署並ニ、サバン防衛計画所定
但電波探信儀故障中

三 経過
別紙表ノ通り

アリテ我ニ協力中
三三一空零戦 機 (ベタン)

0258

伊坊山 九一〇	司令官 九一〇	砲台 九一〇	砲台 九一〇	砲台 九一〇	司令官 九一〇	砲台 八四二	砲台 八四二	司令官 九一〇	砲台 八四二	砲台 八四二	司令官 九一〇	砲台 八四二	
司令部	西方部隊			司令部	各砲台			司令部	司令部	司令部	北中部 マトラ	司令部	
敵輸送船団見エ伊坊山、三三〇度	戦艦三隻、巡洋艦五隻、五五度三〇〇〇 輸送船三隻、三三〇度	駆逐艦四隻、二八〇度、三三〇度、三三〇度 輸送船二隻、三三〇度	輸送船四隻、三三〇度	巡洋艦五隻、三三〇度、三三〇度 輸送船三隻、三三〇度	各砲台二敵、揚陸艇二隻、三三〇度	輸送船五隻、三三〇度	三三〇度、巡洋艦三隻、駆逐艦九隻、四〇〇〇以上 （四隻、大巡洋艦八隻、駆逐艦九隻）針路不明	敵機八九機全部単発目下飛行場銃撃中	敵機八九機	敵機八九機	敵機八九機	敵機八九機	敵機八九機
電話	無線						電話	無線					

7784 ASW
19. 7. 27

0259

司令官 〇九〇三	砲台 〇九〇四	砲台 〇九〇五	司令部 〇九〇六	砲台 〇九〇七	砲台 〇九〇八	司令部 〇九〇九	砲台 〇九一〇	司令部 〇九一一	砲台 〇九一二	司令部 〇九一三	
大尉 司令官 SHB	〃	司令部	各砲台	〃	〃	司令部	司令部	司令部	砲台	司令部	
〇九一五 敵巡洋艦砲臺開始約一時間、後西北方ニ退還中 驅逐艦ハ灣内ニ突入、湾内ヲ砲撃キリ、日下敵飛行機數機	攻去開始敵ハズンクノ近ヅク	コハラシエードト降下、一ツナリ	敵艦近ヅクヲ撃テ	巡洋艦五隻三〇度ノ砲臺續行	巡洋艦砲臺開始ニ五度八〇〇	ニ一ニ番艦ノ順ニ開始目標送信所銃柱	巡洋艦砲臺開始ニ五度八〇〇	驅逐艦四隻対峙ノ陰ヲ出タ	司令部ハ綜合戦斗指揮所ニ移動スル	餘祐ガアツタラニ十五機機銃移動準備	巡洋艦五隻一〇度ヨリ零度ニカケ徹速ニナツタ 一ニ〇〇〇米
無	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	砲臺

1637

0260

九四五 司令官	北中部 マトラ 1209	上空ニアリ 敵艦ニ甲込ハ巡五基工 「ヤバン」徳海軍、三四度至五〇〇
九〇〇 司令官	大臣所屬長官 師長司令官	アンシヨ一
九〇五 司令官	西才部隊 マニ師	飛行場使用並マハサ 飛行機被マキ
九〇〇 司令官	SHB各派 司令官	電信室ヲ戒厳シニ移動 戦一敵素、射撃並ニ敵マ
九〇三 司令官	北中部 マトラ	二二。敵艦隊全警視專科ニ去
九〇九 司令官	戦艦概 着信艦所	<p>三根戦艦第一六号</p> <p>一八三。敵九機來襲港灣施設及飛行場附近ニ約二時間半ニ 直リ銃撃ス</p> <p>常時在空中九機以上延焼敵約二機以上</p> <p>九三。戦艦ハ巡洋艦五、駆逐艦九（戦艦二駆逐艦中若干 佛國機ヲ捕マシムルマデ）北西ヨリ這接戦艦約一五〇〇巡洋 艦六七八〇。砲臺、水雷艦ハ湾内ニ侵入砲撃並マ二二三。西才ニ 去</p>



0261

<p>909 司令官</p>	<p>二七日 一〇。</p>
<p>909 着信機</p>	
<p>5 偵察機 第一八号</p> <p>當隊戰機第一七号ニ陸軍偵察機一(中隊長機)〇八〇。發進 一〇。以後連絡ヲ、未詳還々如シ。 二七。二〇。見張機ニ依リ、潜水艦去沈ハ其ノ後、調査ニ依リ尚疑 問。点アリ、戦死四ノ下士官、其注上官以上ニ編者ナシ</p>	<p>第三項被害中五番偵察機ハ破(使用可能)電探所砲銃臺ニ依リ 使用不可能。因津丸八種高角砲、陸揚裝備中)大破 戦死計一(重傷)一輕傷者ナシ。追加 第四項所見ニ左ノ如シ (一)大口至砲中着信機アリ (二)十五時、十六時、七時、八時、九時、十時、十一時、十二時、十三時、十四時、十五時、十六時、十七時、十八時、十九時、二十時、二十一時、二十二時、二十三時、二十四時、二十五時、二十六時、二十七時、二十八時、二十九時、三十時、三十一時、三十二時、三十三時、三十四時、三十五時、三十六時、三十七時、三十八時、三十九時、四十時、四十一時、四十二時、四十三時、四十四時、四十五時、四十六時、四十七時、四十八時、四十九時、五十時、五十一時、五十二時、五十三時、五十四時、五十五時、五十六時、五十七時、五十八時、五十九時、六十時、六十一時、六十二時、六十三時、六十四時、六十五時、六十六時、六十七時、六十八時、六十九時、七十時、七十一時、七十二時、七十三時、七十四時、七十五時、七十六時、七十七時、七十八時、七十九時、八十時、八十一時、八十二時、八十三時、八十四時、八十五時、八十六時、八十七時、八十八時、八十九時、九十時、九十一時、九十二時、九十三時、九十四時、九十五時、九十六時、九十七時、九十八時、九十九時、百時</p>



四 成果

(一) 對空戰鬥

(1) 重墜確認七机ノ

内一機ノ搭乗員ハ落下傘ヲ飛降り場北東方向八折海上ニ降下。敵巡洋艦
 ニテ救助

五 機

(四) 喪破

六 八機

何レモ火ヲ吹き海軍方向ニ向ヒテ七機ヲ撃墜。確認ニ付テハ(地形上)

0263

(二) 對艦艇戰鬥

湾口ニ突入セル駆逐艦四隻(ニ番艦ハ大型ニシテ或ハ巡洋艦トモ知ラズ)ニ對シテ二種砲
二門及八種高角砲一門、十三耗機銃ヲ以テ攻撃、命中ニ確認セラル

一番艦

艦橋附近数発(八種)

ニ番艦

前橋損傷艦尾ニ命中黒煙及破片飛散

三番艦

中部附近一発

該駆逐隊ハ湾内ニ魚雷發射後主トシテ命令ヲ辨コケ、辨コケ著シ、此ハ煙幕ヲ張
ヲ爲シ、避退ス

(三) 對潛攻撃

(イ) 敵艦隊表退後一〇三〇頃飛行場北東方向約十時ニ潜水艦ヲ飛行場砲台ニ發見
陸軍魚雷艇一機直ニ発進銃撃ニ及ビ、殊ニ命中シ、潜水艦ハ相當ノ油

泡ヲ出シ、後ニ浮油アリ、虫流略奪ヲ認ム

(ロ) プルウエー島見張(ハバン西南方十ニ時)及、其ノ邊探見張所ハ標高五〇〇ハ種取鏡
探有(其ノ他ノ見張所ノ報告ニ依リテ探見不明ノ飛行機、潜水艦、魚雷艇、水上艇ニ對

シ急降下爆薬ヲ爲シ爆撃後黒煙約十ニ時上リ、

概位ハバン島ニシテ、度々ノ射撃ニ後、調査ニ依リテ、如ク判斷ス

當日ハ八〇〇「ハバン」発陸軍砲隊(十枚長日没大對塔本)一約六〇時進出一〇〇〇
第一度針兵ニテ通報アリ、此ハ一連發ヲ絶々、本隊邊ニ至リ、射撃開始ハ一〇〇〇頃ニシテ

或ハ此機ガ敵艦ヲ登陸セ有カモ攻塞ヲ如クシテ事大ニシ、西宮野敵機及敵水上艦艇ハ其ノ附近ニナシ

(ハ) 其後ノ通信情報ニ依リテ敵艦隊ハニコロン不ヘマカシマシ、二時後モモノ如シ

五 我兵力ノ現狀

(一) 陸上部隊

八種平射砲一門、十三種機銃一重機六挺、重傷一輕傷若干
兵舎十數棟破壊セシ、我力モ極ニ乏存ナシ

(二) 艦艇

(イ) 初鷹在泊中、ナリシモ其狀ナシ

(ロ) 雜投船(式明特監艇)一艘、逃滅、全番山北水天中破セシ、正座雷艇以下八発等異

狀ナシ

六 功績

(一) 第一砲台(指揮官海軍少尉ニ橋汎)ニ最初ニ敵機及敵艦隊ヲ発見、警報ヲ發スルト共ニ敵機烈ナル集中砲火中走リ避ケ、敵機襲撃報告記録機ニ敵艦艇一艘(一隻艦橋附近ニ命中弾數發)ヲ飛行機(大才次カシムルモノ一枚)ニ有動モ攻去リ、続行シ將ニ敵艦隊ノ行動報告ニ関シ奇與スル所大ナルモノアリ

七折見

- (一) 第二砲台(防空、指揮官海軍中尉林田貞吉)ハ砲台員一機ト出陣ス
- (二) 第三砲台(防空、指揮官海軍少尉岡村清、海軍兵曹長宮島常夫)ハ敵機六機ニ
大煙ヲ吹カシム
- (三) バロハン十二種平射砲台(指揮官海軍兵曹長大貫國次)ハ敵機ニ機雷陸(略砲台)

(一) 計画

砲台配備築城

砲台(十二種)ハ各砲毎ニ適當ニ命散シ各砲側指揮官像ルヲ建前トシ特別ナル場合ノ外
一齊打方ヲ實施セズ 砲台築城ハ水際ニ迫リ大命ハ未ダ天蓋並ナリ掩体ノミ(鉄竹筒有
蓋ニ門、今次交戦セズ) 弾庫ハ砲側應急弾庫(一) 本弾庫(二) ハ出弾庫(三) 何レモ
土中コンクリート

(四) 砲戦方針

隠蔽防護迫近、猛撃ヲ主旨トシ敵揚陸時舟艇ノ攻去ヲ致調シテ
但敵明カニ我所在ヲ察見攻来スルハ亦ハ好機ヲ以テ猛撃ノ如何ニ拘ラズ出テ来ルヲ近
距離ニ於テ之ヲ攻去ス 砲戦開始最大標準距離一〇〇〇

(二) 實施ノ適否

(一) 築城

18 AGW
19 23 31 24

(1) 石積メント目塗掩体ト雖モ適當ニ土壁ヲ以テ掩ヒ、厚シク増シテ高爆彈式中口
 至砲以下ノ直垂彈一乃至ニ發射(射)

(2) 鉄骨ナキ掩体ニシテ大口至直垂彈ノ爲ニ砲應急彈庫側壁破壊シテ天蓋落下セ
 リ

(3) 砲座ニハ天蓋ヲ附スルヲ可トス

敵機ノ銃去及至直垂彈定行止ヲ至スル程度ニ可トス之成シ得ル砲塔ノ直垂ニモ
 耐エ得ル如クセバ砲更精確状態ノ安全及迅速上有知ナリ尚天蓋ノ構築ハ支柱
 ノ關係上一部射界ヲ犧牲トスルモ必ク之モ三六〇度射界ヲ要セズ

又射程(射角)ノ犧牲ニシテハ二種ニテ約六〇〇度附近迄トス(砲眼口ハ出来ルモ
 小ナラシムルニ射界結果選擇上多大ノ利益アリ)

(4) 長島砲台(天蓋ナシ)第二番砲射後始テ敵大砲機銃ノ反垂彈花ニテリ砲員
 四名負傷ス

(5) 第一〇砲台一番砲(天蓋ナシ)ハ至直ニ炸裂セシ砲彈(十五種砲)ニ依リ土砂無量
 ニ入り一時砲ノ使用ヲ不能トナシメタリ

(10) 砲戰實施

(1) 當隊現行身則ニテ可ナクモト認ム

(2) 教育訓練

砲台ハ分散シテ單枚砲戰ノ機會多キヲ以テ平素ハ簡單ナル砲戰術思想ノ統一

(三) 演習

及机上射撃ノ効行ヲ必要トス 尚裝填訓練ニ特ニ着意ノ要アリ
當隊ニ於テハ各砲(砲台)毎ニ机上射撃要具裝填砲ヲ準備訓練ニ添テシテ
今次戦斗ニ効果アリシモノト認ム

(四) 演習ノ特異事項

敵ハ砲ヲ送補給施設ヲ破壞遮断シ前セテ兵舎防空砲台ヲ打破シテ戦力ノ低
下ヲ企圖セルモノノ如シ 特異事項左ノ如シ

(1) 戦斗機ト艦砲トミテ使用シ爆撃ヲ行ハズ

(2) 駆逐隊一隊ニ依ル港内雷虫ヲ主目的ノ一トシ 戦艦 巡洋艦等ハ一層機之ヲ掩護
射撃ヲ為ス

(3) 主要攻撃目標

港内棧橋 揚塔施設 倉庫 工部部 兵舎 市街地 防空砲台 送信所

海岸地帯 防禦施設ノ探知

(4) 電探所 執拗ニ銃撃及艦砲射撃ス

(5) 射法

(1) 戦艦 巡洋艦 前後部砲塔交互打方

戦艦 齊射間隔

巡洋艦

巡洋艦ハ一番艦教艦ヲ護衛隊下ニシテ射撃開始

三〇秒ヨリ稍大

二五秒ヨリ稍大



(三三三四) 各種艦、順号ニ卷砲)

(11) 驅逐艦

常時一斉打方

同時ニ大型城銃ハ約四〇耗、三五耗(発射)

(12) 砲

(14) 戦艦巡洋艦ハ着色弾使用各艦毎ニ異ナル如シ(赤黄緑)

(15) 大口至ハ被帽徹甲弾 通常弾

(16) 大口至砲弾中榴弾又ハ燒夷弾ト思ハレテ、即チ陸上彈着後噴火ニシテ

小彈子飛散(半至約十五米)本遠家屋等ハ思ハレニシテ大々炎上ス

(17) 彈量

大口至砲弾 (三八式)

彈痕

三八九

中口至砲弾 (二〇式十五式)

約七五七

調査区域ハ略射撃、集中セテ

小口至砲弾 (一〇式八式)

約八〇〇

城ニ非ズ

右、外水中及密林等ニ落下シ調査不能及敵ノ射速度、射撃時間等ヲ考慮シ大約敵ノ発射弾数次、如ク推算ス

大口至砲弾

約七〇〇

中口至砲弾

約一六〇〇

小口至砲弾

約二五〇〇

其他城銃弾多数

(5) 魚雷

發射艦 二隻

内五本 不発揚陸

一艦ノ發雷數

四本 (五十三種)

(9) 其他

(1) 敵ハ例ニ依リ被雷陸搭乗員救助ノ為潜水艦ヲ配シアリニ乃至三隻ヲ認ム

(10) 兵舎港内等ノ射雷ハ間接射雷ナル為戦斗機ヲ以テ彈着觀測ヲ行ヒタルモノ

如シ

(四) 戦斗後ニ於ケル敵情判断

(1)

今次敵攻来ノ特徵ハ砲煩ニヨル破壊ヲ主トシ航空機ニ依ル攻来ハ銃雷ノミニシテ副次的或ハ水上艦艇ノ對空警戒ト認メラル(戦斗機延約ニ機)

敵トシテ破壊攻来ヲ主トスルナラバ艦砲ト同時ニ爆雷ヲ併施スバク之ヲ敢テ為サザリシ理由ニ関シ左ノ如ク判断ス

前四(四月十九日)ノ敵攻来ハ爆雷ヲ主トシ被ニ有カナル米空母「サラトガ」アリ(「スラバヤ」及「アングマン」空襲時捕虜ノ言ニヨル)然ルニ目下太平洋攻勢熾烈ニシテ米空母ニ餘カナク今次ハ敵ニ有カナル空母少ク所要戦斗機ノ外多数爆雷機ヲ搭載困難ナリシモノト判断ス

(註) 全日夕刻ニハ航戦々々機ノ追尾攻来ニ於テ空母ニ隻ヲ発見シアルハ少クモ一隻ハ特空母程度ノモノト認ム

19. 8. 21
AGW
19. 7. 21
19. 7. 21

(2)

敵艦種並ニ數
戦艦 四隻

巡洋艦 五隻

駆逐艦 九隻

内三隻 主砲塔前後部ニ射ニ基ニ充(バラム型)

一隻 主砲塔前部ニ射ニ基ニ充(戦艦) (海リシナリ)

一四隻 主砲前後部ニ射ニ基ニ充(シドニー型)

一一隻 三射ニ基ニ充(一番艦) (采ヤント型)

煙突ニ本特ニ目立ツ

内四隻(海リシナリ)ニ射ニ基ニ充(シドニー型)

主砲前後部ニ射ニ基ニ充(シドニー型)

戦艦(五隻)ニ射ニ基ニ充(シドニー型)ニ射ニ基ニ充(シドニー型)

右ノ外潜水艦數隻ニ空母護衛艦數隻ヲ付シテノヲ認ム

(1)

哨出セル駆逐艦ニ被弾ヲ為シ避避時神轉亂レ煙霧等發散シニ逃走ス相當ノ被

害アリタルモノヲ認ム

尚コアルツエ島艦隊ヨリ、報告ニ據ルニ、九五〇巡洋艦一隻艦底大炎ヲ生ジツツ

(4)

短時間キラ敵ノ同時ニ多數ノ空射ニ遭シテ大炎ヲ生ジタリ以テ我ニ甚大

(5)

ナル被害ヲ與ヘタルモノヲ認ム(實際ハ殆ド戦力ニ影響ナシ)

今次交戦ニ依リ敵ノ湾口附近砲台位置及飛射場ノ平射砲台ノ所在ヲ探知

シ得タルモ其ノ地ハ未ダ察知シテラザルモノヲ認ム

(五)

我が企図意見

- (6) 敵今次、企図ハ「アングマン」方面離島ニ對スル補給遮断破壊ヲ主トシ本島方面ニ對スル揚陸攻略ハ未ダシ、寧ロ「アングマン」「ニッパル」方面一層警戒強化ノ要アルモノト認ム
 - (7) 敵ハ此種攻虫ハ更ニ反覆スベシ、但シ其後反軍航空機一部ノ追及攻虫ヲ受ケタルヲ以テ再度ノ来襲ニ當リテハ大イニ警戒スベシ
- 更ニ防備ヲ強化シ持久戦力ヲ蓄積シ演練ヲ重ネントス
主要方策ヲ如シ
- (1) 瀧口附近 防戦 機雷原設置
 - (2) 永久野戦陣地ノ増強
 - (3) 一部射砲台ヲ防備中心山上ニ移轉
 - (4) 對空射撃物標案
 - (5) 出来ル迄多数ノ機穴洞窟層ヲ掘穿、燃弾糧食ノ保存
 - (6) 工作部、電機動力機械ノ移轉、疎開及土中防護
 - (7) 訓練ノ勃行
 - (8) 島内整理ノ急進措置ハ位置ハ若干變更ス
 - (9) 通信線ノ確保（ケーブル土中式トス）
 - (10) 軍属工員ノ戦斗訓練

(12)(11)

魚嘴艇出動基地、設營、陸上発射場(湾口附近)、新設

陸上設営物の結局ハ破壊焼失スベキヲ以テ漸次穴居生活式ニ移転セザルベカラズ

土木工事資材ノ増強ヲ必要トス

(13)

並木道路ハ樹木ノ倒壊ヨリ車輛ノ通行阻害サレ車輛ニヨル急速機動困難ナ

ルヲ予期シアレヲ要ス

(14)

砲台陣地ノ遷定ニ関シ

山ノ頂界線ハ對空ハ別トスレモ艦砲射表ニ對シテハ命中ノ算少シ

第一砲台(對空)ハ標高八〇米 高角砲ニ門ニ五機銃ニ時ニ基十三機銃單

裝ニ基、彈庫ニ防空壕ニ探照灯一長サ約一五〇米、山頂ニ設置ス

敵機ハ近ヅカザルモ大小口砲彈痕ノミニテモ約三三。発外ニ大型機銃彈無数

ノ集中射撃ヲ受ケリタルモ人員兵器全々異狀ナシ十三機一基ノミ中腹ニアリタル

モ艦砲射表開始ト同時ニ山頂子備銃坐ニ移轉シ其ノ後附近ニ敵彈蜚集セリ

(15)

椰子林ノ中、隠蔽ハ永続性ナシ

一度銃煙表ヲ受ケバ椰子幹ノミトナリ曝露ス

(16)

一部ノ軍屬士員ニ武器ヲ与ヘ訓練ヲ勵行シ且戰鬥配置ヲ豫メ定メ置キタル所

第一砲台ニテ訓練ニ戰鬥ニ從事セリ今後益々是等軍屬士員ノ訓練ヲ勵行セ

トス軍屬士員全員ニ對シテハ是非武器配給ヲ必要トス 殊ニ航空基地隊ノ如キ速

ニ銃器配給ノ要アリ

終

72

別紙第一

七月二十五日對空水戦斗死傷者調査表

七月二十六日

死傷別	配置	官職	氏名	創傷	備考	記事
戦死	砲隊員	水長	酒井 勇	全身粉砕砲弾創		下士官、兵
	砲隊員	上機	鈴木 一三	頸部首骨砲弾創 右大腿骨砲弾創 右大腿骨砲弾創		二九名
我傷	砲隊員	一曹	先井 登	右前胸溝狀砲弾創		陸軍
	砲隊員	一曹	川崎 美六	右大腿骨砲弾創 左下腿骨砲弾創		三名
	砲隊員	一曹	神谷 貴	腰部左足北打撲傷(砲弾)		
	砲隊員	一曹	上代 静男	右前胸首骨砲弾創 銃弾創		現地人(兵補)
	砲隊員	一曹	砂川 長雄	左前胸首骨砲弾創 右大腿骨砲弾創 左下腿骨砲弾創 左下腿骨砲弾創		二名
	砲隊員	一曹	石井 福藏	腹部溝狀砲弾創		
	砲隊員	一曹	小笠原 鶴松	左下腿骨砲弾創		
	砲隊員	一曹	柴 今朝人	右下腿溝狀砲弾創		
	砲隊員	一曹	島 田 仁	爆風傷左級狀創左結腰五五(砲弾)		
	砲隊員	一曹	重 森 弥吉	右足骨貫通砲弾創		
	砲隊員	一曹	北 山 勝明	右足骨貫通砲弾創 銃弾創		
	砲隊員	一曹	清水 春吉	右大腿骨貫通砲弾創 左大腿骨貫通砲弾創		

0274

戦傷	遺弾員	二機曹	新山	清	左前胸矢肉砲弾之死創肉大骨髄挫傷
戦死	砲員	上水	今澤	嘉平	左側胸部三管砲弾之死創肺損傷
戦傷	傳令	一水	妹尾	義美	右大腿骨砲弾之死創
戦傷	遺弾員	一機	葛橋	利一	右大腿骨砲弾之死創
"	"	一水	川原	義雄	右大腿骨砲弾之死創
"	高射砲員	一水	永野	永三郎	右大腿骨砲弾之死創
"	砲員	一水	一瀬	松次	右大腿骨砲弾之死創
"	機銃員	一水	新川	五夫	右大腿骨砲弾之死創

戦傷	遺弾員	二機曹	新山	清	左前胸矢肉砲弾之死創肉大骨髄挫傷
戦死	砲員	上水	今澤	嘉平	左側胸部三管砲弾之死創肺損傷
戦傷	傳令	一水	妹尾	義美	右大腿骨砲弾之死創
戦傷	遺弾員	一機	葛橋	利一	右大腿骨砲弾之死創
"	"	一水	川原	義雄	右大腿骨砲弾之死創
"	高射砲員	一水	永野	永三郎	右大腿骨砲弾之死創
"	砲員	一水	一瀬	松次	右大腿骨砲弾之死創
"	機銃員	一水	新川	五夫	右大腿骨砲弾之死創

戦傷	遺弾員	二機曹	新山	清	左前胸矢肉砲弾之死創肉大骨髄挫傷
戦死	砲員	上水	今澤	嘉平	左側胸部三管砲弾之死創肺損傷
戦傷	傳令	一水	妹尾	義美	右大腿骨砲弾之死創
戦傷	遺弾員	一機	葛橋	利一	右大腿骨砲弾之死創
"	"	一水	川原	義雄	右大腿骨砲弾之死創
"	高射砲員	一水	永野	永三郎	右大腿骨砲弾之死創
"	砲員	一水	一瀬	松次	右大腿骨砲弾之死創
"	機銃員	一水	新川	五夫	右大腿骨砲弾之死創

(第一〇二防空隊)

(第七〇防空隊)

(第一〇二航空基地隊)

左前胸矢肉砲弾之死創肉大骨髄挫傷
右大腿骨砲弾之死創

戦死	戦傷	銃隊員	砲隊	連信守	砲隊	川名 弘	腹部擦過砲弾に創
〃	〃	一等兵	〃	上等兵	〃	山谷 物志	右大腿骨管砲弾に創 同才一蹠骨複雜骨折 同腓骨複雜骨折 指射断砲弾に創 同第一指骨複雜骨折
〃	將務員	高橋 満雄	〃	〃	〃	〃	腹擦過砲弾に創
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	左下腿射断砲弾に創 同胫骨複雜骨折
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	左肩胛部首管砲弾に創 折同才貫通砲弾に創 同第一指骨複雜骨折
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	左下腿射断砲弾に創 同胫骨複雜骨折

(現地人兵補)

(陸軍)

(二) 燃料消費調査表 (七月十五日對空水戦斗)

燃料の種類	戦斗中消費額	残額	記	事
ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ

別紙第二
一) 舟艇船体故障員調査表 (七月十五日對空水戦斗)

故障種類ノ件名	原因	程度	修理概要及之ニ要シ時間	記
桐丸沈没	被砲弾ノタメ	中部甲板及外板大破	瞬時浸水沈没	損傷甚シク使用見込ナシ
香山丸炎上	被砲弾ノタメ	艦橋上甲板機被差船	坐席消火時間 三時間	炎上ニヨリ使用見込ナシ
二号交通艇沈没	被砲弾ノタメ	外板破損	瞬時浸水沈没	使用見込ナシ
第4号特務艇沈没	被砲弾ノタメ	船底破損	浸水甚シク海岸ニ坐礁	修中
二〇号給油艇沈没	被砲弾ノタメ	動力索欠損		修中
一五〇号給油艇沈没	被砲弾ノタメ	甲板前部及右舷機被差		修中

027

(三)

砲類兵器消耗調査表

(七月二十五日對空水戦斗)

種類	消耗量	残額	記
九六式小銃	一〇	六五五	火災及被弾ニ依リ破損
三八式小銃	八	三三五	〃
一四式拳銃	四	二二九	〃
三九式小銃	二	九八	〃
三年式十二程砲	三	三八五	對空戦斗ニ使用
安式十二程砲	一	一六四〇	對水戦斗ニ使用
八種高角砲	一七	五八七	〃
八種八種平射砲	二〇	九一四	對空戦斗ニ使用
九六式二十五程機銃	五二七	二三四八四	被弾ノ為ニ燒失
九六式二十五程機銃	二二九	五七五七	對空戦斗ニ使用(七〇航空隊ノ彈藥包)
九三式十三程機銃	二二七	二五二二九	對空戦斗ニ使用
九二式重機銃	八六九	一五一四七	〃
九二式重機銃	一〇〇	一三二五七	〃
九二式重機銃	一〇二七	五六一九五	〃
九二式重機銃	一八〇	一〇八三二	〃

0278

(四) 兵器故障件鉄損調査表 (七月二十五日對空水戦)		原	程	度	位置	記
故障、欠損、件名	原因	程	度	位置	記	
七七式機銃 彈藥包		五九八	三九四〇二	對空戦中ニ使用		
押収十三式機銃 彈藥包		五七二四	二八一九			
鉄	兜	五六	一六六一	被弾點ニ燒損		
十三式機銃銃身	解危、多ク 火災、多ク	銃尾破損	火	修理不可能	(一)	
九二式 重機銃	"	"	"	"	(二)	
一一式 輕機銃	"	"	"	"	(三)	
假操 小型機銃	被砲弾、多ク	炸裂閉	火	修理不可能	(四)	
九三式五号防毒面ニ型	被砲弾、多ク	燒	火	修理不可能	(五)	
九三式三号防毒面	"	"	"	"	(六)	
水中処分具 一型	"	"	"	"	(七)	
九五式爆雷改二用発火装置	"	"	"	"	(八)	
九五式爆雷改二用発火装置	"	"	"	"	(九)	
九五式爆雷改二用発火装置	"	"	"	"	(一〇)	

0179

假機	單式水中聽音機	被砲彈ノタメ	燒失	破壞	使用不可能
シヨウ。KVA	交流發電機	"	"	"	修理使用可能
ガソリン直流発電機	直流発電機	"	一部破損	"	修理使用可能
台座ニヨリ上交流扇風機	交流扇風機	"	乙失破損	"	修理使用可能
小型携帶電灯	改一	"	燒失	"	使用不可能
七倍鏡	雙眼鏡	被砲ノタメ	破壞燒失	修理不能	(一)
後眼	雙眼鏡	"	"	"	(二)
割	式信	"	大破燒失	"	(三)
夜光	一週間捲掛時計	"	燒失	"	使用不可能 (四)
信	蹄拳銃	"	"	"	(四)
吳滅	信号灯	"	"	"	"
夜光	秒時計	"	燒失	"	"
夜光	掛時計	"	"	"	"
空	盆	"	燒失	"	"
風	速計	"	"	"	"
乾	蒸寒暖計	"	"	"	"
白	記晴雨計	"	"	"	"

76

備考
 以下欄括弧内八個数字示ス

方向信号灯	被弾ノタメ	炎燒原型ニシテ	使用不可能
押収磁石	被銃弾ノタメ	中破	修理中 (四九)
二式電流探信儀一型	被砲弾ノタメ	炸裂飛散	使用中
二式電流探信儀二型	被砲弾ノタメ	大破ニシテ原型ヲ示ス	使用中
磁石式車上電探磁二型	被砲弾ノタメ	破壊燒却セリ	使用中
九七式印字機	被砲弾ノタメ	被焼	使用中
九七式流器	被砲弾ノタメ	被焼	使用中
九八式無線機試驗器	被砲弾ノタメ	被焼	使用中

終

0281

第二砲台

時刻

第三砲台

時刻

第一大隊

砲台ノ敵隊見(約五)

八二五

敵隊見 対空戦
度四機砲隊ヲ戦フ
砲隊見

八三〇

対空戦ヲ命令
敵ノ来襲ヲ取重開始
三在砲台火災消防車(二台)防火
隊(十人)一隊遣
防務(一) 対空戦ヲ
一試(一) 認ム
三、度部輪送船団五隻見
三、砲台速速防火隊停止
三、砲台速速防火隊停止
五、砲台速速防火隊停止

度四機砲隊ヲ戦フ

八三〇

度四機砲隊ヲ戦フ

八四〇

度四機砲隊ヲ戦フ

度三機砲隊ヲ戦フ

八四二

度三機砲隊ヲ戦フ

八四七

度三機砲隊ヲ戦フ

度二機砲隊ヲ戦フ

八五〇

度二機砲隊ヲ戦フ

八五五

度二機砲隊ヲ戦フ

度一機砲隊ヲ戦フ

八六〇

度一機砲隊ヲ戦フ

八七〇

度一機砲隊ヲ戦フ

度砲隊ヲ戦フ

八七五

度砲隊ヲ戦フ

八八〇

度砲隊ヲ戦フ

度砲隊ヲ戦フ

八八五

度砲隊ヲ戦フ

八九〇

度砲隊ヲ戦フ

度砲隊ヲ戦フ

八九五

度砲隊ヲ戦フ

九〇〇

度砲隊ヲ戦フ

度砲隊ヲ戦フ

九〇五

度砲隊ヲ戦フ

九一〇

度砲隊ヲ戦フ

度砲隊ヲ戦フ

九一五

度砲隊ヲ戦フ

九二〇

度砲隊ヲ戦フ

度砲隊ヲ戦フ

九二五

度砲隊ヲ戦フ

九三〇

度砲隊ヲ戦フ

度砲隊ヲ戦フ

九三〇

度砲隊ヲ戦フ

九三五

度砲隊ヲ戦フ

度砲隊ヲ戦フ

九四〇

度砲隊ヲ戦フ

九四〇

度砲隊ヲ戦フ

度砲隊ヲ戦フ

九四五

度砲隊ヲ戦フ

九五〇

度砲隊ヲ戦フ

度砲隊ヲ戦フ

九五五

度砲隊ヲ戦フ

九五五

度砲隊ヲ戦フ

度砲隊ヲ戦フ

九六〇

度砲隊ヲ戦フ

九六〇

度砲隊ヲ戦フ

度砲隊ヲ戦フ

九六五

度砲隊ヲ戦フ

九六五

度砲隊ヲ戦フ

度砲隊ヲ戦フ

九七〇

度砲隊ヲ戦フ

九七〇

度砲隊ヲ戦フ

度砲隊ヲ戦フ

九七五

度砲隊ヲ戦フ

九七五

度砲隊ヲ戦フ

度砲隊ヲ戦フ

九八〇

度砲隊ヲ戦フ

九八〇

度砲隊ヲ戦フ

度砲隊ヲ戦フ

九八五

度砲隊ヲ戦フ

九八五

度砲隊ヲ戦フ

度砲隊ヲ戦フ

九九〇

度砲隊ヲ戦フ

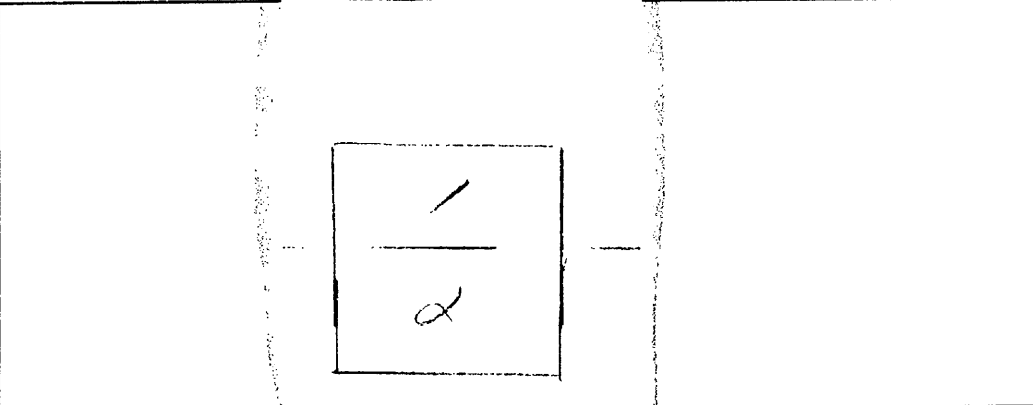
九九〇

度砲隊ヲ戦フ

時刻	第三。砲台	時刻	第四。砲台	時刻	潮岬砲台
08:00	対空戦闘 防空隊員攻撃開始	08:30	敵機侵入(27度) 対空戦闘	08:35	敵機半隻四機を撃墜 三機は逃走
08:00	敵機揚陸艦へ(73)	08:40	敵機揚陸艦へ(73)	08:40	敵機揚陸艦へ(73)
08:00	敵機揚陸艦へ(73)	08:40	敵機揚陸艦へ(73)	08:40	敵機揚陸艦へ(73)
08:00	敵機揚陸艦へ(73)	08:40	敵機揚陸艦へ(73)	08:40	敵機揚陸艦へ(73)
08:00	敵機揚陸艦へ(73)	08:40	敵機揚陸艦へ(73)	08:40	敵機揚陸艦へ(73)
08:00	敵機揚陸艦へ(73)	08:40	敵機揚陸艦へ(73)	08:40	敵機揚陸艦へ(73)
08:00	敵機揚陸艦へ(73)	08:40	敵機揚陸艦へ(73)	08:40	敵機揚陸艦へ(73)
08:00	敵機揚陸艦へ(73)	08:40	敵機揚陸艦へ(73)	08:40	敵機揚陸艦へ(73)
08:00	敵機揚陸艦へ(73)	08:40	敵機揚陸艦へ(73)	08:40	敵機揚陸艦へ(73)

時刻	バロハン砲台	パイ砲台	長島砲台
・八三五	対空戦斗	対空戦斗	敵へ未だ約十五
・八三九	敵バロハン機撃撃中、大發小発銃毒	敵機五機	敵機見よ砲撃用意
・八四〇	敵機二機(八三九、八四〇) 攻撃開始	一五度針路五度高角七度高	(方向度巨三三三)
・八四一	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	二度方向三度外港方向へ針	敵機一機(八四一) 砲撃入阻
・八四二	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機揚陸艦二備へ	砲六度砲撃
・八四三	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機八三度針路七度高	敵機一機(八四二) 砲撃
・八四四	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	四度バロハン機撃撃中	敵機三機(八四三、八四四、八四五) 砲撃
・八四五	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	一四度針路八度一三度	敵機一機(八四六) 砲撃
・八四六	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	砲聲續続	敵機一機(八四七) 砲撃
・八四七	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	砲聲絶	敵機一機(八四八) 砲撃
・八四八	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(八四九、八五〇、八五一) 砲撃	敵機一機(八五二) 砲撃
・八四九	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(八五三、八五四、八五五) 砲撃	敵機一機(八五六) 砲撃
・八五〇	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(八五七、八五八、八五九) 砲撃	敵機一機(八六〇) 砲撃
・八五一	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(八六一、八六二、八六三) 砲撃	敵機一機(八六四) 砲撃
・八五二	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(八六五、八六六、八六七) 砲撃	敵機一機(八六八) 砲撃
・八五三	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(八六九、八七〇、八七一) 砲撃	敵機一機(八七二) 砲撃
・八五四	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(八七三、八七四、八七五) 砲撃	敵機一機(八七六) 砲撃
・八五五	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(八七七、八七八、八七九) 砲撃	敵機一機(八八〇) 砲撃
・八五六	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(八八三、八八四、八八五) 砲撃	敵機一機(八八六) 砲撃
・八五七	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(八八九、八九〇、八九一) 砲撃	敵機一機(八九二) 砲撃
・八五八	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(八九七、八九八、八九九) 砲撃	敵機一機(九〇〇) 砲撃
・八五九	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(九〇三、九〇四、九〇五) 砲撃	敵機一機(九〇六) 砲撃
・八六〇	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(九〇九、九一〇、九一一) 砲撃	敵機一機(九一二) 砲撃
・八六一	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(九一七、九一八、九一九) 砲撃	敵機一機(九二〇) 砲撃
・八六二	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(九二三、九二四、九二五) 砲撃	敵機一機(九二六) 砲撃
・八六三	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(九三〇、九三一、九三二) 砲撃	敵機一機(九三三) 砲撃
・八六四	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(九三七、九三八、九三九) 砲撃	敵機一機(九四〇) 砲撃
・八六五	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(九四三、九四四、九四五) 砲撃	敵機一機(九四六) 砲撃
・八六六	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(九五〇、九五〇、九五〇) 砲撃	敵機一機(九五〇) 砲撃
・八六七	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(九五七、九五八、九五九) 砲撃	敵機一機(九六〇) 砲撃
・八六八	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(九六三、九六四、九六五) 砲撃	敵機一機(九六六) 砲撃
・八六九	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(九七一、九七八、九五九) 砲撃	敵機一機(九六八) 砲撃
・八七〇	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(九八三、九八四、九八五) 砲撃	敵機一機(九八六) 砲撃
・八七一	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(九八九、九九〇、九九一) 砲撃	敵機一機(九九二) 砲撃
・八七二	敵機三機(八三九、八四〇、八四一) 攻撃開始	敵機三機(九九七、九九八、九九九) 砲撃	敵機一機(一〇〇〇) 砲撃

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
上記のとおり分割撮影したことを 証明する 61年 8月 14日 主務者又は 撮影立会者 金沢悦夫 (印)	

Tip

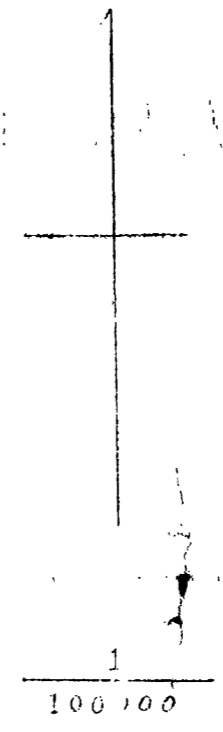
BX 4
(0842)

(0847)

BX 5
(0845)

0000

0000
(0845)



0.5
0.5

0286

CX 1 (115)

